



焼津水産化学工業株式会社

# BUSINESS REPORT 2013

平成25年3月期 期末報告書 [平成24年4月1日～平成25年3月31日]

## Change & Challenge

代表取締役社長

山本 和広



### 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。さて、ここに平成25年3月期 期末報告書をお届けするにあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

当期の食品業界におきましては、原材料価格の高い状況が続く中、今後の消費税増税等に対する消費者の生活防衛意識の高まりにより、引き続き厳しい収益環境が続きました。

このような中、当社グループは3ヵ年中期経営計画「Challenge & Growth」(挑戦と成長)の最終年度にあたり、利益を重視した筋肉質な収益構造を構築しつつ、事業拡大に向けた施策を遂行してまいりました。また事業継続計画(BCP)に関して、静岡県の内陸部に新工場用の土地を取得したほか、海岸沿いの事業所に津波避難タワーを建設する等、災害に強い体制作りを進めました。当期の重点施策であった1.既存事業の深化、2.新商品・サービス開発、3.新規顧客開拓、4.新事業領域開拓の4つにつきましては、既存得意先への営業強化、価格競争力のある商品開発、農業分野をはじめとする新規分野への仕掛け等を進めつつ、生産効率の改善や経費削減に取り組みました。具体的には、調味料事業では不採算品の見直しを進めるとともに、得意とする水産系調味料の拡販を図りました。機能食品事業では医療栄養食で梱包自動化設備を導入し、合理化を進めました。水産物事業では、冷凍鮪の販売に注力しました。海外事業においては、中国にある子会社の大連味思開生物技術有限公司にて独自性のある製品開発を行いつつ、現地企

業向けの商品開発や販売代理店を通じた営業を進めるなど新興国の需要獲得に取り組みました。

この結果、連結売上高は208億13百万円(前期比2.1%増)となり、利益面におきましても、調味料事業の採算性向上、並びに製造経費及び販管費の節減により、連結営業利益は13億91百万円(同7.1%増)、連結経常利益は14億56百万円(同5.4%増)、連結当期純利益は8億86百万円(同32.8%増)の増収増益となりました。

配当金につきましては、期末配当を1株あたり12円と見込んでおりましたが、当期の業績等を勘案するとともに、株主の皆様の日頃のご支援にお応えするため、1円増配の13円とさせていただきます。これにより当期の年間配当額は、中間配当と合わせて1株あたり23円となります。

当社グループを取り巻く事業環境は、足元では輸入原料の高騰など厳しい状況にはありますが、中国・ASEANをはじめとするアジア諸国は急激に経済が成長し、日本食に対する需要も高まってきています。こうした中で、当社グループは新たな3ヵ年中期経営計画『Change & Challenge』を策定しました。新中期経営計画では、“成長への再挑戦”という位置付けで、筋肉質な収益構造を維持しつつ、自らが“変化”し、新しいことに“挑戦”していく企業風土を醸成しながら、当社グループで過去最高の連結営業利益の更新に挑戦してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

天然調味料の製造

調味料の受託加工

# 調味料

売上高構成比  
**39.5%**

売上高 **82億 27百万円** (前期比 **+1.5%**)

セグメント利益 **11億 17百万円** (前期比 **+26.6%**)

国内消費の伸び悩みから需要は頭打ちの状況にありますが、当社が得意とする水産系調味料の拡販に注力するとともに、不採算製品の見直しを進めました。

## 天然調味料

カツオエキス      昆布エキス      ホタテエキス  
カニエキス      オイスターエキス      etc.

機能性食品素材の製造 医療栄養食(流動食の受託製造)

健康食品の通信販売 機能食品の受託加工

# 機能食品

売上高構成比  
**34.3%**

売上高 **71億 39百万円** (前期比 **-4.7%**)

セグメント利益 **8億 39百万円** (前期比 **-13.7%**)

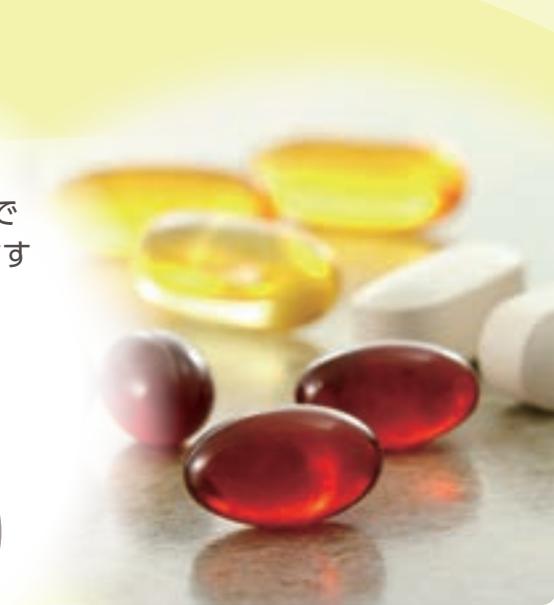
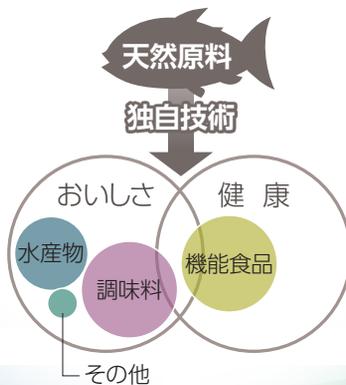
デフレ環境下で厳しい価格競争が続いている中、医療栄養食において前期に震災の影響から一時的に需要が増加した反動で売上、利益ともに減少しました。

## 機能性素材

N-アセチルグルコサミン アンゼリン マリンコラーゲン  
フコイダン 魚骨カルシウム コンドロイチン硫酸 etc.



天然素材のフィールドの中で  
“おいしさと健康”を追求します



水産物の加工

水産物の問屋業

# 水産物

売上高構成比  
**18.0%**

売上高 **37億 45百万円** (前期比 **+26.7%**)

セグメント利益 **0百万円** (前期 **73百万円**)

主に冷凍鮭・冷凍鯉の原料販売並びに加工製品の製造販売です。売上高は海外向けを含め鮭の販売が好調に推移しましたが、前期から続く原料高や設備投資に伴う減価償却費等が増加しました。

香辛料の製造 その他商品

# その他

売上高構成比  
**8.2%**

売上高 **17億 00百万円** (前期比 **-7.5%**)

セグメント利益 **94百万円** (前期比 **+14.0%**)

各種ワサビ類他香辛料の製造販売、その他商品の販売ですが、販売ルートの見直しや原料費上昇の影響があったものの、販管費の節減により増益を確保することが出来ました。

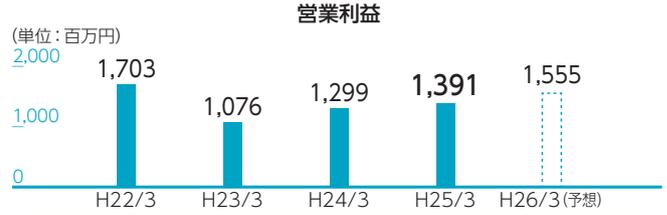
※上記における各分野のセグメント利益は配賦不能費用(659百万円)控除前のものです。

## 連結財務ハイライト



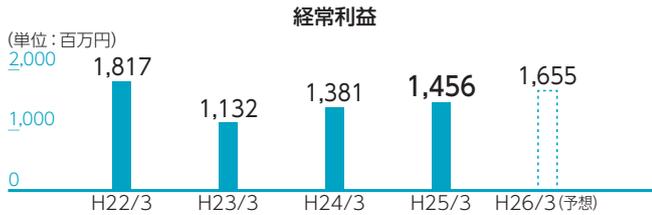
### 売上高のPOINT

売上高は、調味料、水産物が好調で、4億25百万円増となりました。



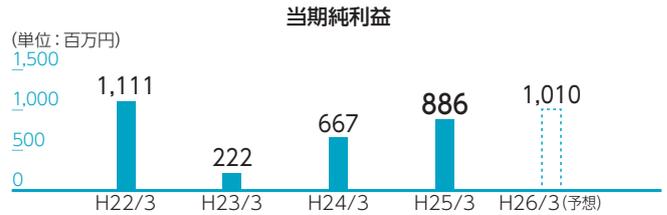
### 営業利益のPOINT

営業利益は、調味料事業の採算性向上と事業構造改革の成果により92百万円増となりました。



### 経常利益のPOINT

前年に比べ75百万円増となりました。



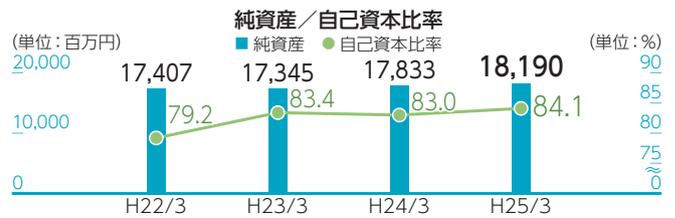
### 当期純利益のPOINT

前年に比べ2億19百万円増となりました。



### 総資産のPOINT

流動資産は10億98百万円減少、固定資産は12億31百万円増加、全て自己資金を充当しました。



### 純資産・自己資本比率のPOINT

純資産は自己株式取得で4億83百万円減少しましたが、利益剰余金、有価証券評価差額金が増加し3億56百万円増加しました。自己資本比率は84.1%となり、1.1ポイント増加しました。

## 連結財務データ

### 連結貸借対照表

(単位: 百万円)

科目	平成24年3月期 (平成24年3月31日現在)	平成25年3月期 (平成25年3月31日現在)
<b>(資産の部)</b>		
流動資産	12,326	11,228
固定資産	9,166	10,397
有形固定資産	6,378	7,355
無形固定資産	222	170
投資その他の資産	2,565	2,872
資産合計	21,493	21,626
<b>(負債の部)</b>		
流動負債	3,245	3,100
固定負債	414	336
負債合計	3,659	3,436
<b>(純資産の部)</b>		
株主資本	17,811	17,906
資本金	3,617	3,617
資本剰余金	3,414	3,414
利益剰余金	10,786	11,363
自己株式	△ 6	△ 489
その他の包括利益累計額	21	283
その他有価証券評価差額金	83	298
為替換算調整勘定	△ 62	△ 14
純資産合計	17,833	18,190
負債・純資産合計	21,493	21,626

### 連結損益計算書

(単位: 百万円)

科目	平成24年3月期 (平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで)	平成25年3月期 (平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで)
売上高	20,387	20,813
売上原価	15,633	16,065
売上総利益	4,753	4,748
販売費及び一般管理費	3,453	3,356
営業利益	1,299	1,391
営業外収益	120	199
営業外費用	38	135
経常利益	1,381	1,456
特別利益	35	174
特別損失	230	212
税金等調整前当期純利益	1,186	1,417
法人税、住民税及び事業税	447	538
法人税等調整額	71	△ 7
少数株主損益調整前当期純利益	667	886
当期純利益	667	886

### 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

科目	平成24年3月期 (平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで)	平成25年3月期 (平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,505	1,386
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 283	△ 1,408
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 458	△ 908
現金及び現金同等物に係る換算差額	5	28
現金及び現金同等物の増加額(減少額△)	768	△ 902
現金及び現金同等物の期首残高	2,513	3,282
現金及び現金同等物の期末残高	3,282	2,379

当社グループは2013年度～2015年度までの「新3ヵ年中期経営計画」を策定しました。

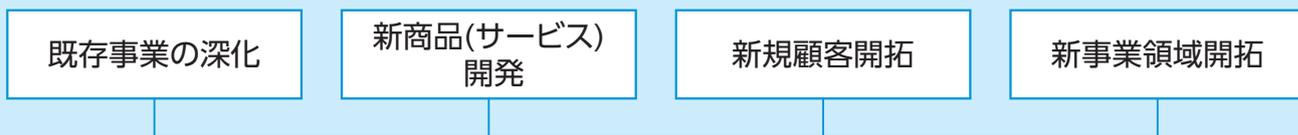
新中期経営計画のスローガンは『Change&Challenge』です。“成長への再挑戦”という位置付けで、“変化”し、新しいことに“挑戦”していきながら、当社グループで過去最高の連結営業利益の更新に挑戦します。

## 新中期経営計画のスローガン

“Change & Challenge” ～成長への再挑戦～  
過去最高益への挑戦

## 「Change & Challenge」の基本方針

4つの柱に経営資源(ヒト・物・金)を集中投入し成長戦略を描く



各部署・グループ会社の施策の具現化

## 「Change & Challenge」の定量目標

(単位:百万円)

	H25/3 (実績)	H28/3 (計画)	差異
連結売上高	20,813	<b>24,800</b>	+ 3,987
連結営業利益	1,391	<b>2,200</b>	+ 809
ROE (自己資本利益率)	4.9%	<b>8.0%</b>	+ 3.1pt

## 会社概要 (平成25年3月31日現在)

商号	焼津水産化学工業株式会社
事業内容	天然調味料および機能食品の製造販売
資本金	36億1,764万円
創業年月日	昭和34年5月15日
取引銀行	静岡銀行本店営業部/りそな銀行東京営業部
社員	365名(単体251名)



焼津水産化学工業株式会社  
本社外観

役員	代表取締役社長	山本 和広
(平成25年6月27日現在)	常務取締役	齋藤 滋
	常務取締役	石川 眞理子
	常務取締役	松田 秀喜
	取締役	又平 芳春
	取締役	大橋 弘明
	取締役	内山 毅彦
	取締役	林 俊行
	取締役	澤本 猪三雄(社外)
	常勤監査役	村松 明
	監査役	松永 淳
	監査役	岡田 慈浩

## 「Change & Challenge」の重点施策

### 1 既存コア事業の深耕・事業継続計画(BCP)対応

- 新規顧客の獲得(営業体制の強化)による売上高の増強
- 新工場の建設による生産性向上・調味料事業の増強

今秋着工予定の新工場予定地(掛川市)



グループ会社マルミフーズの津波避難タワー(焼津市)



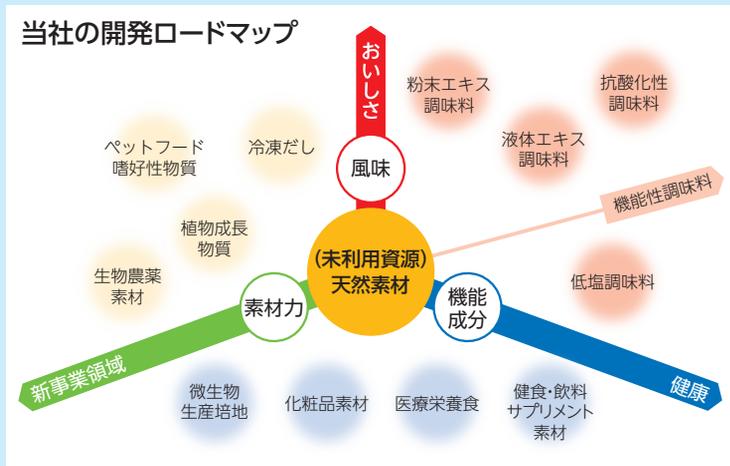
### 2 開発型企业への復権・回帰

- Only one商品、差別化商品の上市
- 外部機関(産官学)との共同研究の推進

### 3 新事業への挑戦

- 農業・環境・化粧品分野等 Non foods分野への事業拡大
- M&Aの模索

当社の開発ロードマップ



### 4 グローバル展開と新たな海外拠点(東南アジア)の設置

- 大連味思開生物技術有限公司(2004年)に次ぐASEANへの第2拠点設立
- 海外売上比率の拡大

### 5 グループ経営基盤の強化

- KPI指標に基づく運営管理
- ROE経営による株主対策・資本政策

事業所	静岡本部	〒422-8067 静岡県静岡市 駿河区南町11番1号 静岡・中京銀静岡駅南ビル6F TEL.054-202-6030 FAX.054-202-6031
	焼津本社	
営業所		東京営業所 大阪営業所 名古屋営業所 九州営業所
工場		静岡県内3工場 (焼津・団地工場 榛原工場 大東工場)

連結子会社	●マルミフーズ株式会社(静岡県静岡市駿河区)
	資本金 100百万円 当社の議決権比率 100%
	主な事業内容 水産物の加工・販売
	●大連味思開生物技術有限公司(中国・大連市)
	資本金 505百万円 当社の議決権比率 100%
	主な事業内容 調味料等の製造・販売
	●UMIウェルネス株式会社(東京都新宿区)
	資本金 50百万円 当社の議決権比率 100%
	主な事業内容 健康食品の通信販売

※平成25年3月31日付で連結子会社オーケー食品株式会社を解散し、当社が同社の事業を譲り受けております。

## 株式の状況・株主メモ

### 株式の状況(平成25年3月31日現在)

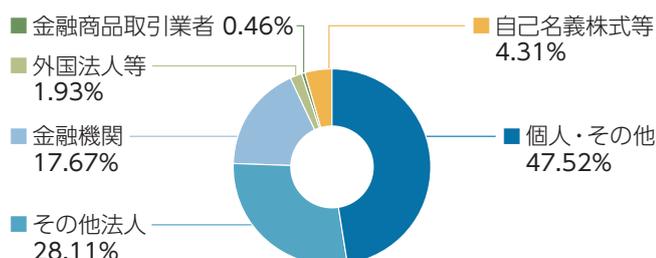
発行可能株式総数	50,000,000株
発行済株式の総数	14,056,198株(自己株式605,779株を含む)
株主数	12,598名

#### 大株主(上位10位)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日油株式会社	1,504	11.19
株式会社静岡銀行	678	5.04
宝ホールディングス株式会社	593	4.41
鈴木 ミツエ	530	3.94
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	367	2.73
松本 圭一郎	323	2.40
焼津信用金庫	321	2.39
明王物産株式会社	232	1.72
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	218	1.62
中野 新之助	188	1.40

(注)持株比率は自己株式を控除して計算しております。

#### 所有者別株式数構成比率



## 株主優待

当社は、毎年3月31日現在の株主名簿に記載された1単元(100株)以上所有の株主の皆様に、自社関連商品などをお送りしています。

本年は、平成25年5月に、当社100%出資の通販子会社UMIウェルネス株式会社が今春新発売した『きらきらこらーげん』並びに、平成17年の発売以来、累計販売数160万袋を突破した人気商品で、この度モンドセレクション金賞を受賞した『N-アセチルグルコサミン』の2品をお送りしました。



### 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
株主確定基準日	(1) 定時株主総会議決権行使株主 3月31日 (2) 期末配当金受領株主 3月31日 (3) 中間配当金受領株主 9月30日 (4) その他必要あるとき あらかじめ公告して定めた日

単元株式数	100株
上場金融商品取引所	東京証券取引所 市場第1部
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 (〒168-0063)
同事務取扱所	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話番号(0120)782-031[フリーダイヤル]
同取次所	三井住友信託銀行株式会社 全国各支店

電子公告  
<http://www.yskf.jp/index.html>  
 ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。

- 株式に関する各種手続きのお申し出先
- 証券会社経由で株式会社証券保管振替機構(ほふり)に株式がある場合  
 ▶株主様が口座を開いている証券会社
  - 特別口座に株式がある場合  
 ▶三井住友信託銀行株式会社  
 お問い合わせは下記の証券代行部フリーダイヤルまたはホームページをご利用ください。  
 フリーダイヤル  
 (0120)782-031(24時間受付:自動音声案内)  
 ホームページ  
<http://www.smb.jp/personal/agency/index.html>

#### 特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しました。特別口座についてのご照会および住所変更などのお届出は、下記の電話照会先をお願い致します。

お問い合わせ先 三井住友信託銀行株式会社  
 電話番号 (0120)782-031(フリーダイヤル)

#### 単元(100株)未満株式をお持ちの株主様へ

単元未満株式(100株未満の株式)をお持ちの株主様は、1単元に不足する数の株式を当社から買増し、単元株とすることができます。また、簡単なお手続きにより、ご所有の単元未満株式を時価にて当社にご売却いただくこともできます。

いずれのお手続きも、ご希望の株主様は三井住友信託銀行株式会社(電話(0120)782-031)にお申し出ください。なお、証券会社経由で証券保管振替機構をご利用の株主様は、お取引の証券会社にお申し出ください。

#### 買増・買取制度の例(460株ご所有の場合)

